

沖縄問題シンポジウム

映画『標的の村』をみて

～辺野古・高江の現状を伝える～

2015年6月5日(金)

午後6時00分(開場:午後5時40分)～午後8時30分

弁護士会館2階 講堂クレオBC

**入場
無料**

**予約
不要**

第2次大戦末期に本土の犠牲となった沖縄。終戦後も現在に至るまで米軍基地のため、多大な犠牲を強いられてきた。

そして、今、辺野古沿岸への基地移設が強いられようとしている。映画『標的の村』により沖縄の苦しみを知ろう。

そして、米軍基地は誰のためにあるのか、なぜ沖縄に偏在しなければならないのか、沖縄はこれに耐えなければならないのか、本当にこれでよいのか、を考えよう。

【トークゲスト】
三上智恵氏

映画監督
毎日放送・琉球朝日放送の元アナウンサー

横田 達氏


沖縄弁護士会副会長
高江住民側弁護士団事務局長
辺野古埋立承認取消訴訟松弁護士団団員

インタビュアー

滝沢 香

東京弁護士会

問合せ 人権課 03-3581-2205

 東京弁護士会

スクリーンに叩きつける、伝えきれない沖縄。

(2014) (2015) (2016) (2017) (2018) (2019) (2020) (2021)



アメリカ軍・普天間基地が封鎖された日
全国ニュースから黙殺されたドキュメント



(C) 琉球朝日放送



丸ノ内線「霞ヶ関」駅B-1b出口
有楽町線「桜田門」駅 徒歩7分
J/R「有楽町」駅 徒歩15分

沖縄弁護士会